

市民生活に欠かすことのできない西武鉄道5路線の存続と沿線の
さらなる充実・発展を求める決議

先般、西武ホールディングスに対し、同社の筆頭株主である投資会社サーベラスが株式公開買い付けを実施することに伴い、西武鉄道の不採算路線とされる国分寺線・多摩湖線・山口線・多摩川線・秩父線の5路線の廃止などを求めていることが大きく報道された。

この5路線には、武蔵野市と府中市、小金井市の3市を通る多摩川線、また小平市と東村山市、国分寺市の3市を通る国分寺線、これら3市と東大和市を通る多摩湖線が含まれている。この5路線の沿線7市に限定することなく東京都北多摩の多くの市民は日々通勤・通学など日常生活で毎日利用しており、市民生活に欠くことのできない重要な公共交通機関となっている。また、多くの市は長年西武鉄道とともに発展し都市形成をしてきた歴史を有し、今後も市民福祉の向上と都市の発展を図る上でこれらの存続とさらなる充実・発展は欠かすことのできないものであり、今回の路線廃止の提案は断じて許すことはできない。

サーベラス社は、この提案の検討を求めているとはいっていないとしている。しかしながら、鉄道のような公共性、公益性の高い事業に対し、株主という優越的な立場から経営合理化優先でこういった提案がなされること自体、極めて遺憾である。

よって狛江市議会は、利益優先の合理化策によって市民生活に必要不可欠な鉄道事業がその存廃を議論されることは、沿線住民はもとより、まちの発展に期待する多くの市民を不安に陥れるものであり、断じて容認できないことを表明し、関係者に対して現行事業路線の将来にわたる運行継続の確約を強く求めるものである。

以上、決議する。

平成25年（2013年）6月13日

東京都狛江市議会

平成25年6月13日 原案可決

(参考送付先) 国土交通大臣 東京都知事